

テンプレート設定マニュアル

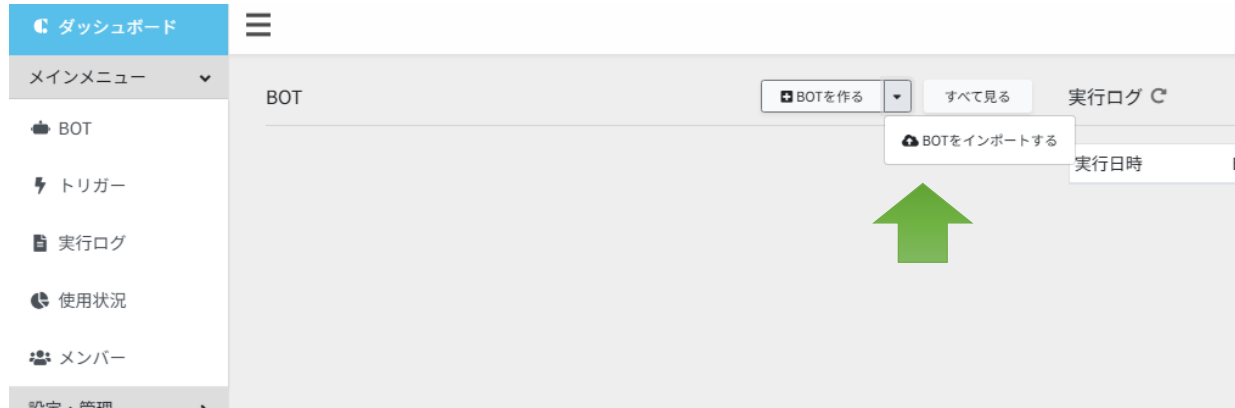
(kintoneプラグイン設定 ver)

- ・ BOTテンプレートのインポート&API公開手順 …2
- ・ kintoneアプリテンプレートのインストール&kintoneプラグイン設定手順 …5
- ・ 設定で困ったらご相談ください …11

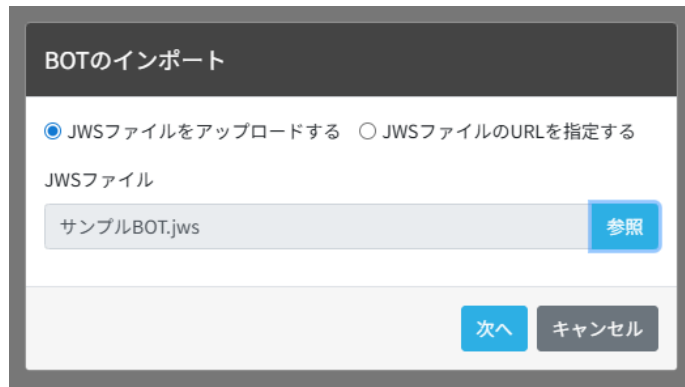
BOTテンプレートのインポート&API公開手順

BOTテンプレートのインポート&API公開手順(1/2)

[1] ダッシュボード画面から「BOTをインポートする」をクリックします。



[2] .jwsファイルを参照し、画面に沿ってインポートします。

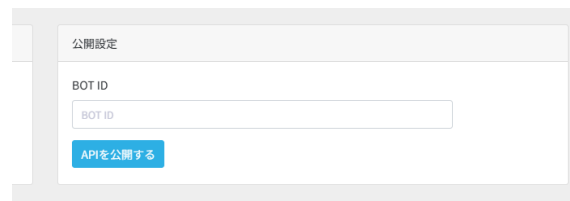


BOTテンプレートのインポート&API公開手順(2/2)

[3] BOTの詳細画面から、「APIを公開する」ボタンをクリックします。



[4] 「APIを公開する」ボタンをクリックし、APIを公開します。



**kintoneアプリテンプレートのインストール
&
kintoneプラグイン設定手順**

kintoneアプリテンプレートのインストール&kintoneプラグイン設定手順(1/5)

[1] 「テンプレートファイルを読み込んで作成」をクリックします。



[2] .zipファイルを参照し、画面に沿ってインポートします。



kintoneアプリテンプレートのインストール&kintoneプラグイン設定手順(2/5)

[3] 以下のURLにアクセスし、kintoneプラグイン『クラウドBOT連携』をダウンロードします。

<https://www.c-bot.pro/ja/kintone/plugin/download/>

ダウンロード



プラグイン名	クラウドBOT連携
バージョン	1.5.0
提供者	株式会社C-RISE

kintoneアプリのデータを入力値としてBOTを実行できます。また、BOTの実行結果を指定のkintoneアプリに格納できます。

[ダウンロード](#) [インストール方法へ](#)

[4] kintoneに読み込みます。

読み込む

プラグイン [?ヘルプ](#)

プラグインの読み込みや管理を行うことができます。
プラグインを利用すると、kintoneで「できること」が広がります。
ここでプラグインを読み込んだ後、各アプリのアプリ設定にある「プラグイン」画面からプラグインの追加を行ってください。

プラグインの一覧 [CSV形式でダウンロードする](#)

読み込んだプラグイン

プラグイン名	説明
 クラウドBOT連携 🔗 バージョン: 1.5.0 利用許可の設定	kintoneアプリのデータを入力値としてBOTを実行できます。また、BOTの実行結果を指定のkintoneアプリに格納できます。

kintoneプラグインのインストールについて、
より詳細な手順はドキュメントサイトで解説しております。

https://docs.c-bot.pro/connect/kintone/kintone_manual/#outline_2

kintoneアプリテンプレートのインストール&kintoneプラグイン設定手順(3/5)

[5] APIトークンを発行します。(アクセス件は、「レコード閲覧」「レコード追加」「レコード編集」にチェックを入れます。)

発行後にアプリを更新します。



ポータル > アプリ: サンプルアプリ > アプリの設定 > APIトークン

APIトークン [?ヘルプ](#)

外部のプログラムからREST APIを呼び出す際に使用する認証情報 (APIトークン) を管理します。
この画面でAPIトークンを生成し、REST APIのリクエストヘッダに付与することで、REST APIを実行することができます。
例: curl -H "X-Cybozu-API-Token: YOUR_TOKEN" "https://c-rise.cybozu.com/k/v1/record.json?app=211&id=1"

生成する

APIトークン	アクセス権	メモ
S3p5oK0j9BH9tZeRwmBatyhvGOuc	<input checked="" type="checkbox"/> レコード閲覧 <input checked="" type="checkbox"/> レコード追加 <input checked="" type="checkbox"/> レコード編集 <input type="checkbox"/> レコード削除 <input type="checkbox"/> アプリ管理	

[6] プラグインを追加し、設定を変更します。



ポータル > アプリ: サンプルアプリ > アプリの設定 > プラグイン

プラグイン [?ヘルプ](#)

プラグインの追加や設定を行うことができます。
[追加する]ボタンをクリックして、利用可能なプラグインから使用するプラグインを選択します。
利用可能なプラグインの登録は、[kintoneシステム管理](#)から行います (kintoneのシステム管理権限が必要です)。

[拡張機能について知る](#)
[拡張機能で、さらに広がるキントーンでできること](#)
[拡張機能とは](#) [プラグイン](#)・[関連サービス](#)を探す

+ 追加する

状態	プラグイン名	設定	説明
有効 無効にする	クラウドBOT連携		必須項目が設定されていません。 kintoneアプリのデータを入力値としてBOTを実行できます。また、BOTの実行結



kintoneアプリテンプレートのインストール&kintoneプラグイン設定手順(4/5)

[7] 発行したAPIトークンを入力し、認証します。



[8] 実行するBOTを選択します。



kintoneアプリテンプレートのインストール&kintoneプラグイン設定手順(5/5)

[9] kintoneのフィールドとBOTの入力値を紐づけ、保存します。

保存後にアプリを更新します。

→ BOT入力値の設定

BOTの入力データ

会社名

名前

メールアドレス

kintoneアプリのフィールド

会社名

名前

メールアドレス

フォーム

メールアドレス

会社名

名前

プロパティ

コメント

コメント投稿者(ログイン名:表示)

コメント投稿者(ログイン名)

コメント投稿者(表示名)

コメント番号

リビジョン

レコードID

レコード番号

[...] BOT出力値の格納先設定 (任意)

同一レコードに格納する

指定したアプリのレコードに格納する

+ BOT設定を追加する

APIトークン

各アプリのAPIトークンが必要です。

サンプルアプリ

S3p5oK0j9BH

開発、追加、編集権限
します。
APIトークンの作成後は、アプリを更新してください。作成手順はドキュメントを参照してください。

キャンセル

保存

[10] レコード詳細画面から実行します。

サンプルアプリ

アプリ: サンプルアプリ > 一覧: (すべて) > レコード: 株式会社サンプル

サンプルBOT

実行する

未実行



設定で困ったらご相談ください

無料のオンライン相談会を実施中

サンプルBOTに関する設定も承っております。
お気軽にご相談下さい。

自動化の実現方法やサービスに関する
質問など、気になるポイントを
専任のカスタマーサクセス担当に
ご質問・ご相談頂けます。

予約制での開催となりますので、
個別のご質問にもお答えさせていただきます。



お申込みはこちら

<https://www.c-bot.pro/ja/discussion/>